

### 県高校マイクロビットコンテスト 日常の課題解決紹介 秋田市で入賞者表彰式



高校生がアイデアやプログラムを紹介した表彰式

複数のセンサーを持つ小型ミラムを対象にしたエキスパート部門の最優秀賞には、大曲工業高校電気科3年の吉川悠輝さん、小松優太さん、佐々木彪雅さん、杉山優斗さんの4人が輝いた。

4人は視覚障害者をサポートする装置「点字くん」を製作。紙面に書かれた文字を人工知能（AI）で認識して画像を判別し、マイクロビットを使った出力装置で点字を表示する仕組みだという。

12月16日の表彰式で生徒たちは賞状を受け取り、「このプロジェクトにより障害に対して理解が深まったと思う。まだ完成ではなく、小型化や認識率を上げていくことが期待できる」などと発表した。

アイデア部門は大館国際情報学院、スタンダード部門は湯沢翔北が、それぞれ最優秀賞に選ばれた。

コンテストは県教育委員会の主催。生徒の学習意欲を高め、デジタル社会で活躍するために必要な能力を身に付けた人材育成を図る狙いで、2023年度から開かれており、今回で3回目。

©秋田魁新報社

(佐々木優)